

第7回「大人の教育シンポジウム」開催
「子どもと大人の井戸端会議」
～地球にやさしい暮らしを考える～

2010年10月23日(土)那須どうぶつ王国において、第7回大人の教育シンポジウム『子どもと大人の井戸端会議』が、文部科学省生涯学習政策局社会教育課・地域学校支援推進室長・山下様ご臨席のもと開催された。今回は「地球にやさしい暮らしを考える」というテーマで、栃木県内や東京から来た子どもたちから活発な意見がでました。

会場となったアニマルスタジオは、普段は動物たちのショーを実演しているのですが、当日は、中央に落書きボードが置かれ、子どもたちの意見などが書き込まれました。

シンポジウムで、コーディネーターを務めたのは、京都造形芸術大学教授の寺脇 研氏。子どもたちから、電気のつけっ放しは電気の無駄とか、お父さんお母さんに無駄を見つけたらピ、ピ、ピという警告をしようとか意見がでました。また、寺脇氏より井戸端会議ってわかるかな？ 井戸を見たことがある人いますか？ とか絶妙な話術でスタンドを埋めた子どもたちに「地球にやさしい暮らし」をみんなで考えいく事の大切さと、会場の大人に環境の大切さと、子どもたちに物の大切さを説く大人の役割を話されました。

シンポジウム終了後、参加者達は東京ドームの10倍もある広大な王国の敷地にいる動物達と交流、鷹のショーなどを楽しんでいました。

当日の記録



日本PCA教育振興会会長
鈴木 仁 挨拶



文部科学省生涯学習政策局社会教育課・地域
学校支援推進室長 山下洋氏による祝辞挨拶



日本PCA教育振興会副会長
田久保 健美氏 開会の挨拶



京都造形芸術大学教授・元文部科学省
大臣官房審議官 寺脇 研氏 挨拶



栃木県PCAの皆様の努力により多くの方が会場にお越し下さいました。



来賓のあいさつも終わり、井戸端会議を開催。



中央に置かれた落書きボードに子どもたちの意見などを書き込んでいます。



子どもたちの様々な意見と無邪気な様子が分かります。



コーディネーター寺脇 研氏の司会でシンポジウムが進んで行きました。



子どもたちに、地球にやさしい事って何だろうねって質問をしています。



子どもは大人の態度や普段の様子をよく見ているものです。



2時間にもおよぶ司会を、労う花束贈呈です。



日本PCA教育振興会副会長
阿多 祥一氏 閉会の挨拶



那須どうぶつ王国の正面玄関



インコを腕に乗せ、動物たちとの楽しいひと時です。



普段見なれない、アルパカをこわごわ触りました。可愛いですね。